

THE ROTARY CLUB OF CHOSHI

# 銚子ロータリークラブ会報

国際ロータリー第2790地区

創立 昭和32年3月23日

RI承認 昭和32年4月15日

会長 宮内 秀章

副会長 田中 英子

幹事 寺内 忠正

会計 常世 田祐一

2019-2020年度 RI会長テーマ

ロータリーは世界をつなぐ

ROTARY CONNECTS THE WORLD

RI会長 マーク・ダニエル・マローニー

Rotary



例会日時 毎週水曜 12:30～

例会場 銚子商工会館5階大会議室

事務所 銚子市三軒町19-4

銚子商工会館4階

電話 0479-23-0750

ファクス 0479-25-8789

E-mail rotary@choshinet.or.jp

URL <http://www.tcs-net.ne.jp/~crc/>

第3061号(2019年10月16日発行)

## 今週のプログラム

「誰も経験したことのない大きな変革に向けて  
稼ぐ力を地域の力に地域活性化の真髄とは」  
NPO法人 日本ITイノベーション協会  
理事 大串 結子様

## 前回例会報告(10月9日)

点鐘: 宮内 秀章会長

ロータリーソング: 我等の生業

四つのテスト唱和

ビジター紹介

地区米山記念奨学委員会委員

加藤 隆様



(千葉東RC)

米山奨学生 苗莉欣様(世話クラブ: 鴨川RC)

## 会長挨拶

本日は地区米山記念奨学委員会より加藤隆様、そして米山奨学生 苗莉欣(ミョウ リキン)様、ようこそ銚子クラブへお越し頂きました。私は苗さんとは9月の米山学友会のBBQで初めてお会いし、その際「銚子クラブへ卓話に行きます」とお聞きしてから今日の日を楽しみにしておりました。後ほど卓話の方よろしくお願ひ致します。

さて、今月10月は米山月間です。これは日本のロータリー独自のプログラムです。米山奨学事業は、米山梅吉氏の功績を記念して発足され、「月にタバコ1箱を節約して」という合言葉により、会員1名当たり月額50円の寄付が勧誘されたそうです。奨学金の支給は1958年から始まり、最初は全国19の大学に呼びかけ13名の留学生の推薦を受け8名を選考し、なんと全員母国

が異なっただけです。このように様々な職業、世代で構成されるロータリークラブとの交流で、奨学生が日本の伝統、文化に接し、将来のことや奉仕について考える機会となり、日本と母国との懸け橋になってくれる素晴らしい事業だと思います。

現在の寄付金額は、直近10年間の同期累計額でみると、2017・2018年に次いで3番目に多い金額になっているそうです。因みに最も多かった2017年は米山記念奨学財団設立50周年を迎えた年でした。

また、今月24日は世界ポリオデーであります。先週は信太会員よりウガンダのお話がありましたが、ポリオ撲滅活動に尽力された一人にウガンダのカンパラ・ロータリークラブの会員であり2018-2019年度国際ロータリー会長に選出された、サムFオオリ氏がおります。オオリ氏は、ウガンダ人では初の国際ロータリーの会長になる予定だったそうです。しかし闘病中、手術後の合併症により会長エレクトの立場でご逝去されました。

米山の事業やR財団が執り行うポリオ撲滅の活動においても、一人のロータリアンからの熱い情熱が人を動かし組織を動かし、更には継続性を持った活動をもたらしていく。

この様なロータリー活動に改めて感銘を受けたと共に、私も微力ではありますが活動の一助になれるよう努めて参りたいと考えます。

## 幹事報告

1. 地区大会記念ゴルフ大会について
2. 台風15号地域支援のお願い
3. 米山記念奨学委員会卓話募集
4. ガバナーノミニ・デジグネートの公表



第2790地区

ガバナー 諸岡 靖彦(成田RC)

広報・会報委員会

委員長 石毛 英俊 副委員長 山崎 芳樹  
委員 大岩 将道

5. 地区先達と語る「私のロータリー」の集い開催  
ご案内再送
6. スリランカクラブセミナーのご案内
7. 奉仕プロジェクト委員会よりアンケートのお願い  
…ガバナー事務所
8. 第8グループロータリー情報研修会開催のご案内  
…第8グループガバナー補佐 石井哲也様
9. セミナーのご案内  
…銚子市国際交流協会
10. 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の女子ソフトボールアジアオセアニア  
予選結果について  
…銚子市世界大会等キャンプ誘致推進委員会

**【例会変更】**

成田空港南RC  
10月10日(木)休会

**会員の記念日**

結婚記念日 常世田祐一会員(10月5日)  
入会記念日 米岡 孝会員(10月3日)  
創業記念日 金島 弘会員(10月8日)

**ニコニコBOX**

◇宮内秀章会長  
苗さん 米山BBQではお世話になりました。本日もありがとうございます。



「米山奨学生クラブ卓話訪問にあたり」  
国際ロータリー第2790地区  
米山記念奨学委員会 加藤 隆 様



銚子RCの皆様こんにちは。

今年度地区米山記念奨学委員を仰せつかっております千葉東RCの加藤と申します。どうぞ、宜しくお願い致します。銚子RCの皆様には、日頃から米山奨学事業への活動にご理解とご協力をいただきまして、心から感謝を申し上げます。また、本日

は、米山奨学生の「苗 莉欣(ミョウ リキン)さん」を卓話にお招き頂きまして、重ねて御礼申し上げます。ここで、彼女のプロフィールを簡単にご紹介いたしますと、出身国は中国の浙江省です。大学は城西国際大学で学んでおります。世話クラブは鴨川RCです。この後、彼女の卓話の中でもその辺の細かいところはお話しすると思います。

さて、ここで「苗 莉欣さん」の卓話の前に、米山奨学生卓話訪問の意義について少しお話しさせていただきます。

この米山奨学事業は、単に金銭的な援助だけではなく、独自の世話クラブ制度やカウンセラー制度及び9月と翌年2月の年度2回の奨学生レポートによりまして、奨学生、ロータリアン、R米山奨学会が相互理解を深めるといふ、ロータリーならではの「目に見える国際奉仕活動」でございます。世話クラブ経験があるクラブは、2019年8月現在、全国で約86%が世話クラブの経験があります。又、当2790地区を見ますと、82クラブ中、79クラブが過去に世話クラブの経験があります。過去の累計を見ますと比較的高い水準の様に思われますが、最近の傾向では、どうしても大学が都市部に近い方に集中しておりますので、遠方のクラブでは未だかつて世話クラブの経験が無く、その殆どは米山奨学生の顔を見ることも出来ないまま、ひたすら寄付に励んでこの事業を支えていただいているクラブがあるのが現状であります。本年度は、82クラブ中、25名の米山奨学生ですから、世話クラブは約30パーセントに成ります。

何れにしましても世話クラブは、世話を出来ないクラブに代わって奨学生の世話をするという、大変に重い責任を担っていただいている訳でありまして、また同時に物心両面でも大きな負担と犠牲を払っていただいております。

この様に、全く米山奨学生の顔も見ず、声も聞かないのでは、どうしても米山に対する親しみが湧かない、そして、支援してくれと言われても、もう一つ気乗りがしないと言われるクラブも実際にございます。

この様なロータリアンの気持ちにこたえようと言うのが、米山月間を中心とする米山奨学生の卓話訪問であります。地区委員会は、その辺のところ目的趣旨を奨学生にはしっかりと伝えて、今後とも周知に努めてまいります。

また、あえて申し上げるまでもないですが「寄付の推進」「奨学生の育成」が我々地区員の役目であります。本年度も2回の奨学生研修、そしてカウンセラーとの合同研修会、クラブ委員長セミナー等々でその役割を果たしてまいりました。寄付の推進の件では諸岡ガバナーの掲げる地区個人寄付金平均15,000円以上の達成をぜひ米山委員長さ

んを中心に実現できるようにご協力をお願いします、また奨学生の育成につきましては奨学生が安心して奨学生ライフが出来るよう、運営面では多様化するハラスメント対策と最近では奨学生の肖像権について留意し、地区の危機管理委員会と連携しながら進めていくように委員会の共通項目と全委員で認識しています。何かお気づきの点等ございましたらご遠慮なくお申し付けください。地区の会員皆様の意見を取り入れ今後も進めて参りたいと考えます。

本日の米山奨学生のスピーチのテーマは、各奨学生に任せておりますが、彼らは学業の時間を割いて一生懸命に考えて、日本語でお話しを致します。

時に、文化の違いを感じさせる内容もございますが、それも相互理解の大切なファクターとなりますので、ご理解をいただきたいと思えます。

本日はロータリアンの皆さんを前にして、大変緊張していると思えますが、ぜひ温かい目で見守って頂けると幸いです。

本日は、どうぞよろしくお願い致します。

### 「米山奨学生卓話」

米山奨学生 苗 莉欣様

(世話クラブ：鴨川RC)



みなさん、こんにちは。本日は皆様の貴重なお時間をいただき、心より感謝いたします。どうぞよろしくお願い致します。

私は苗(なえ)と申します。豆苗の苗と書きます。中国の浙江省から参りました。浙江省というのは、中国の南であり、上海のすぐ隣です。浙江省の舟山というところで生まれました。海に近いので、子供の頃からカニ、魚、エビなどの海鮮をたくさん食べてきました。私は一人子です。現在、城西国際大学経営情報学研究科に在籍しており、今年四月から鴨川ロータリークラブにお世話になっております。

なぜ留学先に日本を選んだのかをいうと、私は昔から様々な国の文化や歴史に興味があったからです。特に外国の人々とのコミュニケーションを

通じて、その国の人々の考え方やものの見方を知ることが、そのたびに驚きがあってとても関心がありました。例えば、中国では、親戚や知り合いの間に、お互いに迷惑をかけあうことで関係がさらなる深まるという認識は一般的ですが、日本人の場合、家族や他人に迷惑をかけないことを常に心がけています。初めて聞いた時、日本というのはなんて思いやりがある国だなと感動していました。しかし、高校までは英語しか学ぶ機会がなく、大学ではなんとしても他の外国語を学びたいと思っていました。そこで大学では「日本語」を選びました。そして、学校のプログラムで日本の大学へ留学することができました。

米山記念奨学生に応募した動機は米山を通じてより多くの人と知り合いたいからです。私は人とのつながりを大切にしています。ロータリークラブでは、人前でのプレゼンテーションを行うためのスキルを磨いたり、ほかでは会うことのできないような人びととの出会いがあり、多くのロータリアンの幅広い見識からよりよく成長させてくれると思えます。実際に奨学生としてロータリーのイベントに参加してきて、留学生としてまわり留学生しかいない環境から様々な事業をやっている方、活動をしている方と知り合うことで、いままで知らないことや見てこなかったことを知ることができました。商売に興味を持っていますので、会社を運営しているロータリアンからいろんな商売の話聞くことができました。

私は日本語に興味を持つようになったきっかけは、大学時代の日本語の先生に影響されたのです。私もそういう人になりたいです。日本語の響きがとてもきれいで、日本人のような日本語が話せるように頑張っていきたいと思えます。日本で生活しているこの4年間も、多くの日本の方は優しくしてくれて、感動や素晴らしい体験がいっぱいです。自分が日本で経験したことや感じたことを日本に来たことがない人たちにプラスの影響を与えればいいと思えます。私一人の力が弱いかもしれませんが、少しでもみんなに日本へ行ってみたいという思いが増えたら嬉しいです。

続きまして、私は今年の1月末から3月上旬にかけてアメリカのカリフォルニア州立大学ロングビーチ校に短期留学をする機会がありましたので、これからアメリカ、中国、日本というそれぞれの国の文化の違いについてお話しさせていただこうと思えます。

私達、中国の大学生にとってアメリカというのは非常に遠い国であり、ビザの関係等からなかなか渡航が難しいものとされてきました。しかし城西国際大学がロングビーチ校と提携を結んでおり、比較的簡単な手続きで短期留学が可能と知り、一生懸命アルバイトをして留学に参加しました。

アメリカに行くということが親戚の人たちに知れ渡るとそれは大変な騒ぎとなり、私のおばさんなどはお土産物の注文の整理係になっていました。  
(中華料理の違いについて)

実は私は日本に来て初めて食べる中華料理がたくさんありました。ラーメンがその代表です。天津飯などは日本に来るまで知りませんでした。青椒肉絲やマーポー豆腐を聞いたことがあります、食べたことはありませんでした。日本では、日本独自の中華料理が発達しているのだと感心しました。中国ではやはり屋台が名物です。私の住んでいた舟山では夜になると海沿いに無数の屋台が並び、会社帰りのおじさんや普通の家族などで夜遅くまで賑わっています。その種類も豊富でそれぞれ何百種類もの料理や皿が出されます。本当ににぎやかで楽しいところです。アメリカの中華料理は、味は日本よりも本場の中国料理に近いと思います。しかしその量が大変に多く一皿食べたただけでお腹がいっぱいになってしまいます。

(挨拶の仕方について)

中国では、初めて会う人でもすぐ喧嘩することがあります。日本では、少し下がって、きちんとお礼をして「初めまして、よろしく申し上げます」と言います。初めて見たとき、武道始まるかと思いました。アメリカであれば、知らない人でもスーパー素敵な笑顔でHello, Have a nice dayと向こうから挨拶してきます。友達との挨拶の仕方も違います。中国では、食べるのが大事だと思われるので、知り合いと会ったらご飯食べた？と聞きます。熱心なおばさんでしたら、うちに来て食べてよと誘います。日本では、元気？と聞きます。アメリカでは、Hello・・・いきなり長い話がされ始めます。

アメリカで、サウジアラビアや韓国、アメリカなど違う国、違う顔、違う宗教の人々と出会えて、様々な人とお話をし、「世の中こういう考えを持っている人もいるんだ」、「こういう文化もあるんだ」と思いながら、とてもいい思い出になりました。小学校の時、アメリカ映画を見ていつかアメリカに行けるといいなあと思っていました。日本へ留学に来ることもアメリカに行ったことも夢のように感じます。これからもより多くの人と知り合っ、たくさん面白い話を聞けたらいいなあと思います。  
ご静聴ありがとうございます。



### 【出席報告】

会員総数 40名 出席計算 36名  
出席 24名 欠席 12名  
出席率 66.67%

欠席者：村田君・永澤君・佐藤君・須永君  
高瀬君・田中君・常世田君・米岡君  
山崎君・鈴木君・富永君・高橋宏明君

### 【M U】なし

### 【ニコニコ】

ニコニコBOX	¥ 3,000	計	¥210,000
スモールコイン	¥ —	計	¥ 13,910
米山BOX	¥ 2,150	計	¥ 16,250
希望の風	¥ —	計	¥ 96,000
台風15号被害支援 例会募金			¥22,000

次週（10月23日）のプログラム

ヤマサ醤油(株)移動例会

集合 12:10

昼食 12:20~12:40 味わい体験館

開会点鐘 12:45 見学センター

卓話

「時代を超えて存在価値のある企業へ」  
(映画上映)

ヤマサ醤油(株) 大久保 貴史 様

閉会点鐘 13:30

例会終了後、工場見学へ（約40分間）

お弁当：膳（幕の内）

### クラブ研修・情報委員会

#### ＝ガバナー・ミニ・デジグネートの公表＝

国際ロータリー第2790地区2022-23年度ガバナーに選出されました。

2019年10月4日

おぐら すみお  
小倉 純夫 氏



所属 松戸ロータリークラブ

ロータリー歴

1991年 松戸RC入会

1994-95年度 クラブ幹事

2006-07年度 クラブ会長

2016-17年度第12分区AG

事業所 わかば法律事務所

職業分類 法律 弁護士(民事)

ガバナー・ミニ・デジグネートについては、「国際ロータリー細則第14条」手続要覧61ページをご参照ください。